進級シミュレーターQ＆A

**Q1　NG解消方法が分かりづらい。**

A1　慣れた短冊の方が確実と思われれば仕方ありませんが、本ソフトのメリットを享受できないのが残念です。NG交換のよさを以下に簡潔に列記します。そのまま操作手順にもなっています。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 新 | 現 | 番 | 児童氏名 | ・・・ | NG児童名 |
| A | 1 | １ | **N美** | ・・・ | **G夫** |
| B | 1 | ２ | **G夫** | ・・・ |  |
| A | 1 | 3 | **B夫** | ・・・ | **G夫** |

1.「学年男女別教科順」に並べて仮の新組を入力し、「新男女別」で暫定編成終了。（手引き参照）

2.NG関係者の着色はマクロが行う。この色は並べ替えをしてもついてくる。

3.左右の赤い児童を結んだ線をNGラインと呼ぶ。異学級なら結ばない。学級内NGが２組と判明。

4.通常は赤の子か青の子どちらを他学級の誰と交換するかと考えるが、同様なNGラインを他学級に見つければ、赤同士または青同士を交換してNGが解消する。手数も半減以下になる。

5.ABC交換は目元・手元が狂って失敗しやすいのでマクロで行う。

6.NG交換・解消を行った後、青い「新５０音順」並べ替えを行うと新組順に仮編成が実行される。一部解消しただけで並べ替えると児童の配置が入れ替わって残りの作業が分からなくなる。必ず学年全部解消してから並べ替える。

7.NG解消したかは学級内の「NG判定」で瞬時に判定してくれる。

8.解消後も色は残るので、男女比・学級人数・その他の調整は容易にNGを避けながら作業できる。

9.「ピアノ」「運動」等のボタンでは関係する子が上に集まるので探す手間がいらない。

10.仕上げの男女数、学級人数をそろえる作業も、シミュレーターに自動で集計してくれるので楽。

11.学級編成結果と学校在籍名簿をタブレットNoで紐づけてあるので順不同のまま全校名簿を年度更新。

12.さらに次年度の編成ファイルのたたき台まで自動作成するので年度末の負担がさらに減る。

13.旧全校名簿はファイル名に年度を付与して保存し、新年度と分けておけば消えることはない。

**Q2　１画面に１学級分くらいしか見えないので、学年全体が見渡せないのでは。**

**A２**　短冊で編成している人が学年全体を見ていると思うのは錯覚です。視野の範囲を視線が行ったり来たりしているにすぎません。旧バージョンでこう指摘されるたびこのように反論してきましたが、バージョン8.7からは常に学年全員を映しながら作業できるようになりました。教室等の大画面モニタでの作業を強く推奨します。

**Q3　児童の情報量が限定されているので不十分ではないか。**

**A３**　本ソフトで入力する10項目は2016年に作者が勤務していた公立小学校で使っていたものを踏襲した上に最近重視されてきた要素を加えています。勿論学校により変更は自由です。当時はこの程度のシンプルな内容の学校が多かったと思います。ところが学校にPCが普及し、Excelで簡単に作れてカラーで印刷できるから、あれもこれも入れよう・・・と詳細になってきたのでしょう。ただそうなれば１学級がA4・１枚程度ですみません。自分の首を自分で絞めているとしか思えません。

**Q4　組分けを自動で行えないのか。**

**A4**　乱数等使って自動で行うソフトも出てきていますが、NGが解消されていない等のクレームがあった時適切に対応できるかという問題があります。できたとしても、しっかり検証してお必要はあります。「お気楽」感が保護者に伝わるととても危険です。NGが多すぎて解消不能なことはよくあります。学年会でどのNGを割愛するか全員理解の上行えば責任ある処理ができ、保護者への対応も準備できます。

**Q5　「リボン有」「リボン無」のボタンは何ですか。**

**A5**　Excelのメニューを表示したり非表示にしたりするボタンです。非表示にすると、その分児童が多く表示できますが、操作で困ることもあります。必要に応じて使ってください。

**Q6　NGが多くてラインを引くのが大変です。**

**A6**　NGラインは同一学級内のみで引きます。異なる学級に赤い児童がまたがっていても、学級が異なれば既にNG解消しているので引く必要がありません。３名以上をNG指定しているとNG児童欄が見づらくなりますが、そのセルをクリックすると、数式バーに大きく映るので確認できます。なお、NG児童の間はスペースでもコンマでもいいので個人が認識できるように分けて入力（コピペ）してください。

**Ｑ7　「◎人学級」「◎％ズーム」のボタンは何ですか。**

**A7**　学級の人数が少なければその分ズームアップして見やすくする。多ければズームアウトします。ボタンが横に２つずつ並んでいるのは、適度な組み合わせです。

**Q8　シミュレーターでNG児童のABCを交換したのに仮編成が変わりません。**

**A8**　全ての変更や交換は仮編成シートで行います。シミュレーターは試行してバランスを見るためのシートです。交換しても仮編成シートには反映されません。

**Ｑ9　「読めないセルを選択して押す」ボタンは何ですか。**

**Ａ9**　シミュレーターシートで１つのセルに情報を書き込みすぎて見にくくなってしまうと、印刷で見づらくなるので、このボタンを押す毎にセルも文字も大きく見やすくなります。しかし何人もやりすぎると１ページに収まらなくなり、印刷に支障をきたします。「行と文字を戻す」ボタンは、これを全部最初に戻してやりなおすボタンです。印刷しないで画面だけで校長先生に見てもらうということも勿論可能です。

**Ｑ10　「年度更新データ作成」はどんな時に必要ですか。**

**Ａ10**　GIGAスクール構想により、児童のための情報が次々デジタル化されています。児童の個人情報にタブレットNo（端末番号）とメールアドレスが追加されました。タブレットNoはアドレスより短くて６年間変わらない校内固有の番号です。これを「進級シミュレーター」と「学校在籍名簿」に付与して２ファイルを紐づけたのでボタン１押しで数秒で年組番号を付替え、学年の年度更新ができます。忙しい年度初めにこれを「名簿を読む人」「新組を入力する人」などとペアを組んで１時間ほど行っていませんか。その作業が不要になります。詳細は「全自動付替」ボタンがある最後のシートをご覧ください。

**Ｑ11　「次年度編成データ作成」は何が良いのか。**

**A11** 教科以外の個人情報は１年後もあまり変わらないので次年度用に加工して使えば、NGなどの引継ぎ事項が確実に伝わります。煩雑な一連の加工をボタン１つで行うようプログラムしたのでもう転記の必要がありません。これを年度当初にしておくと、担任が指導する上で参考になるし、児童の変化に気付いた時に少しずつ修正すれば仕事が早くでき、本ソフトに習熟し、学級編成も楽になります。つまり本ソフト使用２年目以降はさらに負担が軽減されるということです。